

研究所の概要

未曾有の津波災害をもたらした東日本大震災を契機に、自然災害リスクへの対応や、輸入エネルギー資源への過度な依存構造の改革の必要性が、強く認識されています。

持続可能な地域社会を築くには、地域のエネルギーや資源を活用した産業の振興を図るとともに、省エネ、資源循環、防災、環境保全、野生動物との共生といった様々な課題に取り組む必要があります。

当研究所は、こうした地域社会を取り巻く複合的な課題への総合的・分野横断的取り組みの連携を強化して研究を推進するための新たな組織として、前身である工業試験場環境エネルギー部、環境科学研究センター、地質研究所を統合再編し、令和2年（2020年）4月に設立しました。

共同研究・受託研究・技術支援のご案内

当研究所では、道民の皆様の技術的な疑問や課題を解決するため、共同研究や各種技術支援などを行っています。まずは、お気軽に受付窓口までお問合せ下さい。

【技術支援の受付窓口】

研究推進室研究調整グループ ☎011-747-3525

●共同研究

外部機関や行政機関と連携して実施する研究のうち、法人の研究経費を共同研究の申請者が負担するものです。

●受託研究

道以外の行政機関や企業、団体等の外部機関からの依頼により、契約または寄付により実施する研究です。

●技術相談

技術的な質問や疑問にお答えします。

●技術指導

技術的問題の解決に向けた指導を行います。

●講師等派遣・執筆依頼

講演会への講師派遣や、刊行物等の記事の執筆を行います。

●技術開発派遣指導

新製品開発や生産工程改善などを支援します。

●課題対応型支援

技術指導に必要な試験・調査等を行います。

●技術審査

公募型研究開発事業の技術的審査を行います。

●依頼試験

依頼に基づき試験・調査等を行います。

●設備使用

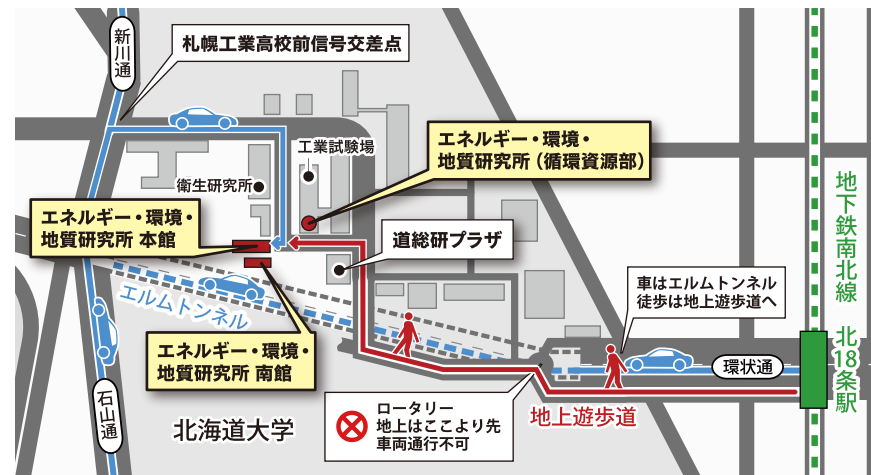
試験研究用設備をご利用できます。

●研修者受入

研修者を受け入れて様々な指導を行います。



施設のご案内



●エネルギー・環境・地質研究所

〒060-0819 札幌市北区北19条西12丁目
☎011-747-3521 (代表)

●地域地質部 沿岸・水資源グループ

〒047-0008 小樽市築港3番1号
☎0134-24-3829

●道東地区野生生物室

〒085-0027 釧路市仲浜町4-25 釧路水産試験場内
☎0154-65-7785

●道南地区野生生物室

〒043-0044 檜山郡江差町字橋本町72番地1
☎0139-52-5456

視察・見学のご案内

当研究所では、業務内容を知っていただき積極的にご利用いただくために視察・見学を受け入れています。

【視察・見学の窓口】

研究推進室研究情報グループ ☎011-747-2420

図書室利用のご案内

当研究所では、専門資料の閲覧・貸出サービスを行っています。

【図書室の窓口】

図書室 ☎011-747-2431



道総研

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
産業技術環境研究本部

エネルギー・環境・地質研究所



EEG
Energy Environment Geology

Hokkaido Research Organization
Research Institute of Energy, Environment and Geology

<https://www.hro.or.jp/eeg.html>

研究開発の主な取り組み

エネルギー

豊かな地域資源の有効活用と地域特性に応じた省エネルギーの促進のため、地熱・バイオマスなどの再生可能エネルギーや工場廃熱などの未利用エネルギーの活用と省エネルギー技術の高度化に関する研究開発に取り組んでいます。

循環資源

環境への負荷を減らし持続可能な循環型社会を構築するため、廃棄物の適正処理や、利用されずに捨てられている有用な資源の循環利用に関する研究開発に取り組んでいます。

防災

安全な地域づくりを進めるため、地震、津波、土砂災害、火山噴火などの災害を発生させる自然現象の解明や、地域の災害リスクを評価するための研究開発に取り組んでいます。

地質資源

地下水などの地下資源に地質景観も含めた地質資源を持続的に利用するため、基礎となる地質状況や資源量評価のための研究開発に取り組んでいます。また、陸地の延長である沿岸域では、漁場環境の実態解明などに関する研究開発に取り組んでいます。

環境保全

良好な地域環境を保全し、安全・安心な生活環境を確保するため、流域圏における健全な水循環系の構築、気候変動対策、環境への負荷抑制技術や環境リスクの低減などの研究開発に取り組んでいます。

生物多様性保全

豊かな自然環境を将来にわたって維持し、北海道固有の生物多様性を保全するため、自然環境の保全・再生や、野生生物などの自然資源の活用に関する研究開発に取り組んでいます。



持続可能な 地域社会の創造にむけて

